

## 令和7年度 第3回千歳市緑化審議会 会議概要

### ■日時

令和8年2月16日（月）14時00分～15時00分

### ■場所

千歳市役所本庁舎2階庁議室

### ■出席者

委員出席者：愛甲会長、竹田副会長、外崎委員、丹波委員、高橋委員、小田委員、津田委員、立田委員、佐々木委員、松本委員、渡辺委員（計11名）

委員欠席者：井溪委員、古幡委員、山根委員

事務局：建設部長、建設部次長、都市整備課長ほか5名

傍聴者：なし

### ■会議結果

#### 1 開会

#### 2 会長挨拶

#### 3 議事・その他

- (1) パブリックコメントの実施結果について
- (2) 千歳市第2期みどりの基本計画（素案）の修正箇所について
- (3) 答申案について
- (4) 今後のスケジュール

・上記の議事(1)から議事(4)まで事務局から説明を行い、承認済みとなった。

#### 4 閉会

### ■会議における意見及び質疑応答等

- 1 議事(1)パブリックコメントの実施結果について及び議事(2)千歳市第2期みどりの基本計画（素案）の修正箇所について（関連した内容となるため、事務局からまとめて説明）

#### 【会長】

パブリックコメントの中で樹木の維持管理に関してご意見が多いように見受けられるが、ご意見された方が問題に感じている背景があるのか。

#### 【事務局】

伐採したあとの補植が行き届いていないことや、もっと緑を増やしたいという思いが背景にあ

ると考えている。補植については、計画書の施策にも掲げていることから、取り組んでいきたい。

【会長】

パブリックコメントの結果については、意見者に通達するのか。

【事務局】

通達はしないが、パブリックコメントの結果は市のホームページに掲載するとともに、各パブリックコメント閲覧場所にも掲示していることから、意見者にご確認いただける手法は取っている。

【委員 A】

No.1の意見については、住んでいる地域の問題もあると思う。近くに墓地があって大きな木があり、その葉が落ちてくるのも関係していると考えられる。春と秋の2回、町内会で掃除をしているが、樹木の種類が多く、掃除後も葉が落ちてくると聞いている。年2回しか落ち葉の掃除を行っていないのも問題と考えられる。

【会長】

年2回の落ち葉の掃除は地域の方が行っているのか。

【委員 A】

意見者は私の知り合いで、落ち葉の清掃は6月以前と11月くらいに行っているが、11月以降も葉が落ちてきて風で飛んでくるため、このような表現にしたと聞いている。

【会長】

落ち葉については、市で個別に対応しているのか。

【事務局】

公園に隣接したお宅から公園の敷地内にある高木の葉が道路上に落ちてきて、自身で拾っているという連絡を受けることがあり、その際は、ボランティア用のゴミ袋を枯れ葉収集用としてお渡ししている。

【委員 A】

気温によって葉が落ちる時期が違うため難しい場合もあるが、公園の周囲にネットを張るのも有効だと思う。

【会長】

景観の面では、公園や墓地の緑があることによるメリットもあるが、一方で隣接するお宅は樹木が大きくなって葉が落ちることによるデメリットもあり、管理者とうまくコミュニケーションをとれたらよいと思う。

## 2 議事(3) 答申案について

意見なし。

## 3 議事(4)今後のスケジュールについて

【会長】

計画書や概要版は市内各所に配置するのか。また、広報にも掲載するのか。

【事務局】

計画書や概要版は、図書館など置けるところには置きたい。広報にも掲載したいと考えている。

【会長】

ほかに質問や意見等がないので、事務局から説明のあった議事(1)から議事(4)について、承認済みとしてよろしいか。

【委員一同】

異議なし。

【会長】

議事(1)から議事(4)について承認済みとすることに決定し、2/19(木)に答申することとする。

以上

## ■議事終了後

1年9か月に渡る「千歳市緑の基本計画の改定について」の全ての審議が終わったことから、お一人ずつ感想をいただき、最後に建設部長より委員へ挨拶を行った。

【副会長】

約2年、緑の基本計画の改定作業に参加させていただき、公園や樹木を管理している立場で色々のご意見させていただいた。計画書に私たちの想いを沢山盛り込んでいただいたので、これから市や市民のための緑の確保につながればありがたい。

【委員B】

これまで審議会や専門部会が数回行われてきた中で様々なご意見があり、前回の計画書以上に素晴らしい計画書になったと思っている。先ほど答申書にもあったが、これから市が発展していく中で今回の計画も併せて取り組んでいってほしい。

【委員C】

なかなか普段触れることのない緑の基本計画の策定に携わらせていただき、皆さんのおかげで

とても良いものができたと思っている。

【委員 D】

今まであまり緑に関して気にしたことがなかったが、日々触れている木々や公園などについて色々勉強になった。自分たちもきちんと考えていかないと緑や公園も良いものになっていかないと考えた。

【委員 E】

公園や緑地など、これまであまり関わってこなかった分野だったが、大変良い勉強になった。計画期間が 20 年と長期にわたるが、せっかく時間をかけて作った計画なので、進行管理をきちんとお願いしたい。

【委員 F】

緑の基本計画の策定に携わり、大変勉強になるとともに、色々な方々の考え方を聞いたことは、これから進んでいくための大きな力になっていくと思っている。保全と利活用の両立という大きな課題を掲げた基本計画になっているので、これから仕事や自身の活動においても心を引き締め関わっていかねばいけないと思った。

【委員 G】

20 年前の緑の基本計画策定の際に、千歳市工業クラブの事務局をやっていた。当時の工業クラブの会員に、緑化審議会の委員になってほしいとお願いしたが、20 年後、今度は自身が委員になるとは思わなかった。大変勉強になった。

【委員 H】

30 年近く、市の公共花壇のボランティアとして関わってきた。この会議に参加して、幅広い知識を得ることができた。気になっていることは、時代とともにボランティアや町内会の担い手が不足しており、これまでは家の近くにある公園の花壇は、町内会で管理するのが当然だったが、高齢化により町内会が撤退した後、次の世代が引き継げない時代になってきている。市としても人手を確保するために、今までの当たり前を見直す必要があると思う。市の予算の問題もあり、職員も不足していると思うが、次の世代の担い手を一人でも多く育ててほしい。

【委員 A】

自身の町内会の立場で意見させてもらうことが多かった。町内会の後継者不足の問題はあるが、科技大やリハ大の学生が利用するバス停が近くにあるので、連携して何かできないかと考えている。私の町内会も担い手不足だが、手伝ってくれる人が 10 人近くいるので、何とか存続できている。役員の担い手がいけないのは仕方ない。活動するために手伝ってくれる人をどう確保するかが大事だと思っている。公園利用についてのマナーの問題、草刈りやゴミなど、どうしたらよいか関心があったので、色々意見させていただいた。

#### 【委員1】

10年以上緑化活動に携わっている市民団体として、また、子育て中の母として意見させていただいた。未来へ緑を繋ぐには、と常に考えている。千歳市は産業と緑の両輪で進んで行けると思いつながら意見を述べていた。産業は経済と直結するので実感しやすいが、緑には物言わぬ価値観や豊かさがあるため、一人一人が実感して活動していく必要があると思う。基本計画が利活用を掲げているのは良いところであり、緑の良いところを次の世代へつなげていけるような計画になっていると思う。

#### 【会長】

緑の基本計画の改定に関わり、私自身も勉強になった。千歳市には、以前から研究の関係で訪れており、特に支笏湖周辺などは学生の頃から通っていた。非常に魅力的な場所が多く、経済的にも盛り上がってきており、新しいマンションの建設なども進んでいる中、経済と緑の調和がとれたまちになるための計画という点で、いろいろな分野の方に関わっていただき、良いタイミングでの計画策定になったと思う。また、部会を何回か傍聴させていただき、大変熱心に議論をされているのが印象的だった。先ほど委員の方もおっしゃっていたが、どう続けていくかどう維持していくかが非常に大事であり、造園業界も人手不足で、ボランティア関係も各地で高齢化となってきた。一方で、新しい形でつないでいくことも必要であり、今回の計画にもSNSやQRコードなど若い世代にも興味を持ってもらえるような工夫をしてあるので、うまく活用しながら進めていってほしい。PDCA+Rの計画の推進の部分について、きちんと書かれていることもこの計画の特徴なので、作った計画をどうやって育てていくか、市役所だけでなく、市民の皆さんや各関係者の皆さんと育てていってもらえればと思う。

#### 【小尾部長の挨拶】

委員の皆様、1年9か月にわたり、緑化審議会及び各専門部会においてご議論いただきありがとうございました。20年ぶりの改定ということで、その間に国の法律や方針が変わり、地球温暖化への対応や生物多様性の確保、緑を保全しながら活用するといったように時代が変化してきている。今回の計画策定は、委員の皆さまそれぞれのお立場でご議論いただき、社会情勢の変化にも対応できる計画になったと感じている。会長からもお話のあったように、記録を保存して、どう繰り返していくかが大事なことから、計画の推進方法として「PDCA」にあえて「+R」（記録）を加えさせていただいた。この「+R」という部分が大事であり、やりました、次は何をやりますだけでなく、どうやってきたのかを抑えておかなければいけない。

本計画は、委員の皆様と私たちの想いを込めた計画になったと思っている。計画策定に係る会議は今回で終わるが、委員の任期は来年の5月まで残っているので、それぞれの立場で引き続きご協力いただきたい。愛甲会長、竹田副会長、委員の皆様に深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

以上